

2025 年 7～9 月 活動記録

天塩町地域おこし協力隊 鷹尾 心

目次

■ 活動記録

1. 天塩川歴史資料館 見学案内（留萌管内協力隊ネットワーク、北前船交流拡大機構、高大連携の大学生）
2. 総会・研修会参加
3. 道みんの日施策
4. 獣魂碑慰霊祭に参加
5. 展示資料のカビ被害の把握・清掃
6. 道北地区博物館等連絡協議会巡回展「巳年のへび展」
7. 天塩川歴史資料館 web サイト制作に向けての準備
8. てしお塾の企画・準備

■ 活動の総括・天塩川歴史資料館における活動の展望

活動記録

1. 天塩川歴史資料館 見学案内

7月から9月の間、周辺地域の住民の方々・旅行中のお客様・団体のお客様など、合計860名にご来館いただいた。7・8月は例年通り来館者数が増え、道外や国外など遠くの地域からのお客様も多くいらっしゃった。その際に求められるものとして、天塩町内の観光案内情報が必要な場面があったため、一部の施設のパンフレット以外に紹介できる情報をより充実させたいと感じた。

実施した見学案内：

- ① 9月3日 留萌管内協力隊ネットワークのみなさま
- ② 9月17日 北前船交流拡大機構のみなさま
- ③ 9月18日 筑波大学・麗澤大学の学生のみなさま

2. 総会・研修会参加

下記研修・説明会等に参加した。学芸員として天塩川歴史資料館のミュージアムとしての機能を発揮するため、オホーツクミュージアムえさしがどのように博物館活動を行っているのか学ばせていただいた。また、資料館 HP に加えて、外部から当館への導線を作るために北海道デジタルミュージアムに参加することとした。登録するコンテンツについては、資料館 HP の構築と並行して検討したい。

参加した総会・研修会：

- ① オホーツクミュージアムえさし 研修 （於：枝幸町）
- ② 北海道デジタルミュージアム参加促進リモート説明会 （於：オンライン）

3. 道みんの日施策

7月17日の「北海道みんなの日（道みんの日）」に合わせて、7月16・17・18日の3日間、天塩川歴史資料館にて各種キャンペーンを行った。3日間の無料開館に加え、学芸員による展示解説ツアーと QR コードをスキャンして視聴できる音声ガイドのテスト運用を実施した。

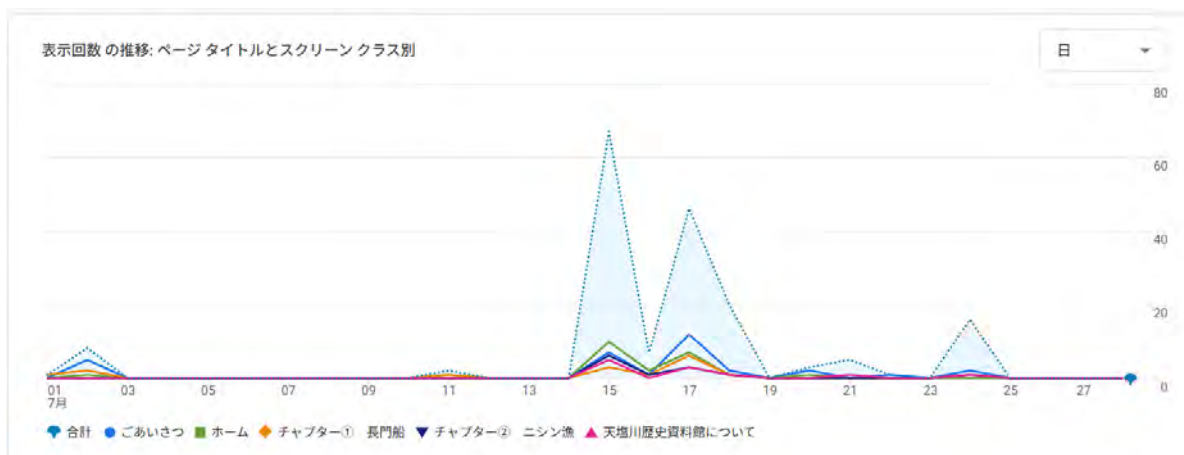
着任後初の資料館の企画であるため、今後の活動の参考材料として来館者の反応や音声ガイドの Web ページに設置したアナリティクスから興味・関心のデータを蓄積することを目指す。音声ガイドの設置は10日間続け、どの箇所のガイドが聞かれやすいかなど、データを収集した。

キャンペーン期間中のアンケートでは、実施した音声ガイドについて「丁度良い長さの説明」「とても良い取り組み」「新しいものを取り入れていくのはよいことだと思う」などの好意的な意見を頂いた。しかし、スマホで QR コードをスキャンすることに慣れない方もいらっしゃるので、様々な年代のお客様が気軽に体験できる形を模索したい。



▲音声ガイドの使い方リーフレット・QRコード・設置例

◀ 音声ガイド視聴ページ



▲音声ガイド実施期間の展示コーナー毎の表示回数グラフ

(設置した10日間の来場人数は148名、うち28組が音声ガイドを体験した。)

4. 獣魂碑慰霊祭に参加

8月6日、南川口の獣魂碑慰霊祭に参加・参拝させていただいた。この獣魂碑は天塩町開基110年の年である平成2年に、乳牛1万5千頭、牛乳5万トン達成記念として建立された。慰霊祭では住職の方が獣魂碑にお経を上げ、参拝者が順に奉拝していた。資料館内にある牛馬頭観音のレプリカの展示では、現在の天塩町各地にある石碑を地図上に示したものがある。過去に資料館で様々な石碑に関する展示を行っていたこともあるようなので、リバイバル的に開催することも視野に入れたい。



▲南川口の獣魂碑

5. 展示資料のカビ被害の把握・清掃

資料館内の温湿度の上昇により、農機具の木部や金属部をはじめ、2階の展示資料を中心にカビが発生した。外部の学芸員の方々に助言を頂き、7月末にカビの除去・清掃を行う。現状唯一機能する除湿設備が換気扇のみであるが、近年の気温上昇の勢いが止まらなければ、来年以降の春～夏期間に再びカビ被害が発生すると思われる。来年度に向けて、資料館内で使用できる除湿器の購入について検討したい。



6. 道北地区博物館等連絡協議会巡回展「巳年のへび展」

9月17日（水）より、道北地区博物館等連絡協議会巡回展「巳年のへび展」を開催中。10月12日（日）まで開催し、今年度最後の資料館内でのイベントとなる。名寄市北国博物館の展示を道北地区のミュージアムで巡回しており、天塩川歴史資料館では天塩町に伝わるへびの逸話をまとめたパネルを追加して展示している。

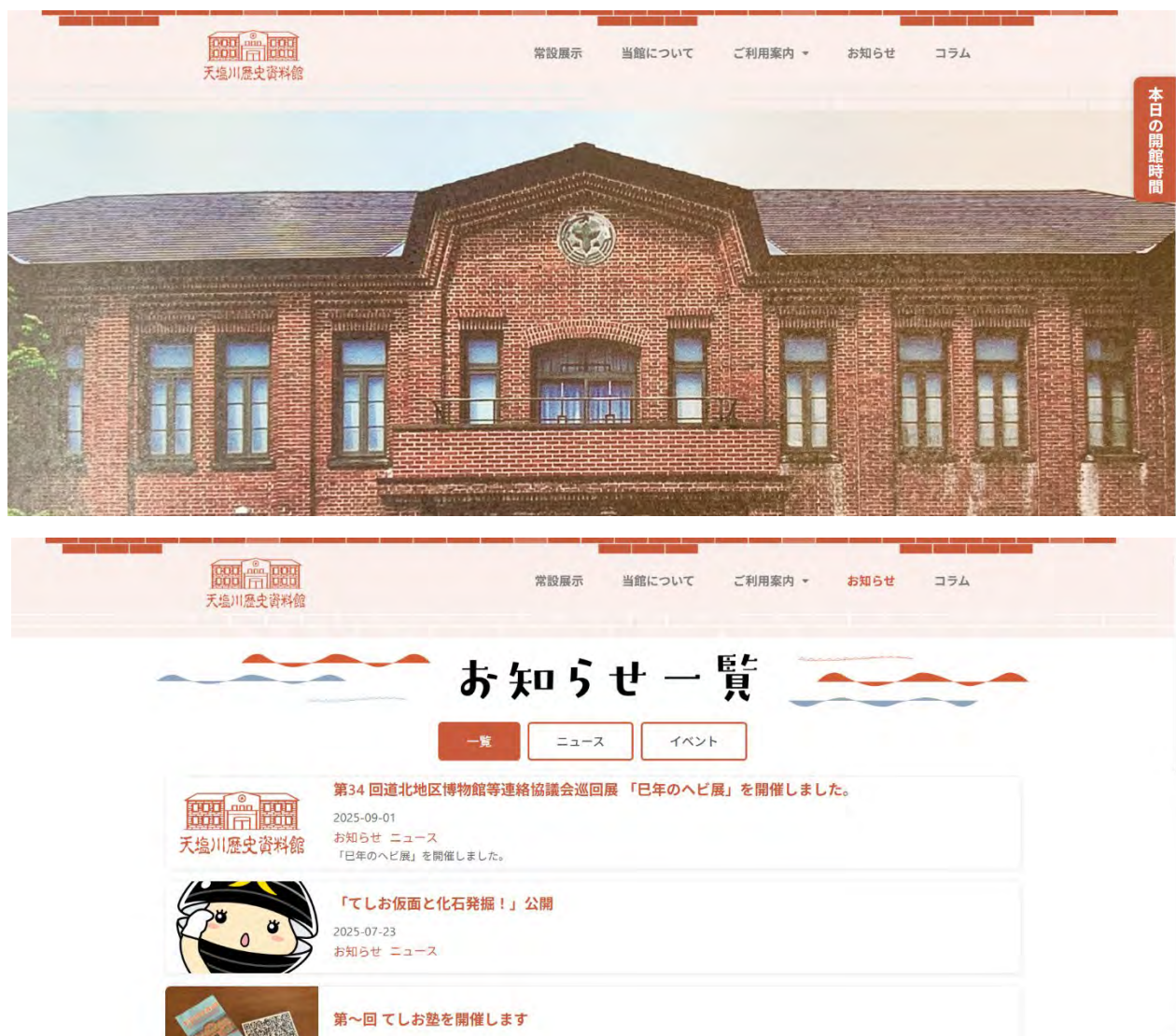
町内の方々が「へび展を見に来た」と言ってお来館いただくことが何度もあり、企画展など、普段とは違う取り組みに対する関心の高さを実感した。新聞記事や回覧のチラシ、掲示ポスターを見て知ってくださるので、今後もイベントの際は情報発信を広く行いたいと考える。



▲巡回展「へび展」のチラシ、展示風景

7. 天塩川歴史資料館 Web サイト制作に向けての準備

天塩川歴史資料館の Web サイト制作に関して、今年度内の公開を目指し、作成を進めている。本ホームページは、来館促進および館の認知度向上を目的として、町内外・道内外を問わず幅広い層に資料館の情報を発信できる中核的なプラットフォームとなることを目指すものである。現在はサイト内の各固定ページの作成を行っている。



▲ 現在作成途中の固定ページ

8. てしお塾の企画・準備

天塩町の歴史について講義・討議する町民の方々向けのイベント「てしお塾」の 2025 年開催内容を企画・準備中。今回は天塩小学校の授業の一環で開催する予定のため、子どもも大人も興味を持ってもらえる内容を検討する。テシオコクジラの発掘調査を行った木村方一氏にご登壇いただき、授業形式で講演を行う。現時点での概要は以下の通りである。

【てしお塾 概要案】

タイトル：てしお塾 特別授業「化石発掘ゲームで学ぶテシオコクジラ（仮）」

対象：小学校高学年（4～6 年生）・一般の方

時間：45～60 分

場所：体育館＋プロジェクターまたはタブレット端末

目的：

- ・天塩町で発見されたクジラ化石の歴史と学術的価値を学ぶ。
- ・地層や化石の発掘について体験的に理解する。
- ・科学的思考力や探究心を育む。



▲ 実施予定の化石発掘体験ゲームのイメージ画像

活動の総括・天塩川歴史資料館における活動の展望

7月から9月にかけての3か月間は、着任当初に立てた活動目標を一つ一つ実行していくことに注力した。役場の方々をはじめ、地域のみなさまにもたくさんのお気遣いを頂き、活動することができた。

今後の活動の方針として、冬季休館期間中に資料館内のキャプションの整備やHPの制作作業を行うことを目標としたい。また、11月に予定しているてしお塾の準備も含め、天塩町内の住民の方々により資料館の存在を身近に感じてもらえるようにするための施策を計画していきたい。

今後の目標

〈情報発信の強化〉

- ・ Web サイト上での学芸員コラムや特別展示のお知らせなど継続的な情報発信
- ・ 地域の話題と連動した更新コンテンツの作成
- ・ SNS（Instagram や X など）との連携による情報拡散力の向上

〈来館促進・観光資源化〉

- ・ 観光客向けのアクセス・モデルコース紹介ページの新設
- ・ 音声ガイド・展示解説の多言語化（英・仏・西・中・韓が理想）
- ・ 周辺施設との連携（道の駅や飲食店）による回遊性の向上

〈外部メディアへの情報の掲載〉

- ・ 博物館紹介 web ページや書籍への寄稿
- ・ 研究機関会報への参加・寄稿
- ・ 協力隊ネットワークを介した情報発信

〈データ分析と改善〉

- ・ サイトアクセス解析データを基にコンテンツ改善・ターゲティング強化
- ・ 来館者アンケートの回答率向上策を考案し、展示やサービスの質を向上
- ・ ページごとの閲覧傾向を分析して、導線設計の見直しを継続